

# 榊原病院 Monthly

Vol.11  
2015.November

独立行政法人 国立病院機構 榊原病院  
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital  
発行者 榊原病院企画課

## 院長

村上 優(むらかみ まさる)

1949年生まれ

74年九州大学医学部卒

86年国立肥前療養所精神科医長、2002年同療養所臨床研究部長、

同年King's College London Institute of Psychiatry(司法精神医学研究所)長期研修。

2005年花巻病院臨床研究部長(併任)、2006年琉球病院長を経て、2014年榊原病院長に就任。

日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事。

NGOペシャワール会の会長として活躍。

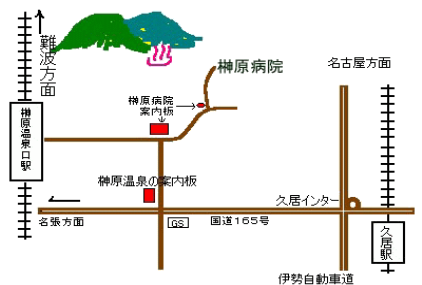


## 診療科

- 一般精神科
- アルコール・薬物依存症  
専門外来
- こころのリスク外来

## 病床数 126床

- 精神科病棟 108床
- 医療観察法 18床
- 認知症ユニット
- アルコール・薬物依存症ユニット



電車・バス / 近鉄久居駅下車、三交バス  
(榊原温泉口駅行)にて約30分。  
榊原口バス停下車徒歩約10分。  
自動車 / 久居インター (伊勢自動車道)  
より西へ約20分  
マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)

## 病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

### 〈アルコール依存症治療への取り組み〉

精神科医師 近藤 早紀

当院でのアルコール依存症治療についてご紹介します。当院では村上院長の専門であるアルコール・薬物依存症治療に力を入れています。

アルコール依存症の入院治療、ARP (アルコール リハビリテーション プログラム) では、10週間という期間の中で表に示したようなプログラムを行います。変化のステージモデルにもとづき、問題行動を認識していない(酒を全くやめる気がない)人が、病気の正しい知識を得て、徐々に断酒に向けて動機付けを高めていける内容となっています。

アルコール問題を否認する患者様でも仲間やスタッフと自由に話し合える雰囲気の中で問題に自ら気づき、行動を変えたいという気持ちになります。入院時は沢山の参加だった方もARPを通じて仲間と出会い、「お酒をやめていきたい」と話されるまでに変わっていく姿も多くみられます。私達は多職種チームでの関わりを大切にしています。ARPには専門知識を持つ医師・看護師・薬剤師・心理療法士・作業療法士・ソーシャルワーカー・栄養士が携わります。

一人ひとりの気持ちの変化や揺れにチームとして寄り添っていくことができるよう、2週間毎のカンファレンスで情報の共有を行います。離脱症状の管理から退院後の断酒継続まで、回復の道へ繋がる第一歩をチーム全員でサポートさせて頂きたいと思っております。また、当院ではご家族の支援にも力を入れており、CRAFTを取り入れた家族教室を開催しています。CRAFTは、アメリカで開発されたご本人が受診に繋がるためのご家族の関わり方を学ぶプログラムです。同じ悩みを持つご家族同士の癒しの場にもなっており、毎回到やかな雰囲気の中で教室が開催されています。

やめたいと思ってもなかなかお酒をやめられない方、家族の飲酒問題でお困りの方、一度、専門スタッフにご相談ください。回復するための方法をこれから身につけていきましょう。私達がお手伝いします。

### 当院の治療プログラムARP (アルコールリハビリテーション・プログラム)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM	つづり方教室 Ns	ストレス・マネジメント CP・OT・Ns	「酒のない人生をはじめよう」 Ns・OT	変化のステージ・ミーティング CP・Ns	基礎講座「アルコール依存症を知る！」 Ns
PM	デイケアスポーツ OT・CP・Ns	心理教育 Dr/Ns/CP/OT 薬剤師/栄養士	絵画療法 Ns・OT	運動療法 OT・Ns 家族教室 第2・4週 13:30~14:50 Dr/Ns・CP	SST OT・Ns



(カンファレンスの様子)

## トピックス

行事・出来ごと

教育・研修

- 統合失調症家族教室(7/13,27,8/24,9/14,10/5,19,27,11/9,全8回13:00~15:30)
- 平成27年1月より「禁煙外来」をはじめました。
- 第18回ひさい榊原温泉マラソン大会(協賛) 平成27年11月15日(日)
- 「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)指導者養成研修」  
平成27年11月24日(火)~27日(金)
- 寺子屋・榊原塾「今日の精神医学と医療」の開催のお知らせ  
・11月18日(水)17:30~19:00 テーマ:精神病理・精神療法  
特別講師 酒井 崇 名古屋大学特任講師



榊原病院ホームページ  
QRコード

## 地域医療連携室だより

### 〈統合失調症 家族教室のお知らせ〉

本年7月より11月にかけて、統合失調症をおもちの患者様のご家族を対象とした家族教室を8回シリーズで行います。前回の家族教室では、病気の知識と共に、病気とうまく付きあうための工夫や対処法を、参加されたご家族全員で学び合いました。また、ご家族同士の交流の場ともなり、気楽に病気の話ができて、和気あいあいとした雰囲気でした。家族教室への参加を希望される方は、地域医療連携室・外来までお問い合わせ下さい。



空床状況  
10月30日現在

精神科病棟  
5床

## 訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできずに使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっております。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

## 治療抵抗性精神疾患への医療

### 〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成27年10月までに全症例は21例となりました。10月の新規導入は1例でした。11月も順次投与を開始する予定です。また、今後クロザピン専門外来の開設についても準備を進めていく予定としています。



## 認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

### 〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状(BPSD)に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

### 〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」(健康日本21)と言われております。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。4月から当院のアルコール・薬物依存症治療のプログラムをリニューアルしました。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

### 〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



## デイ・ケア案内

### 〈4月よりデイケアを拡大しました〉

平成27年4月1日(水)から、デイケアの実施時間が午後半日のショートケアから、1日(9:30～15:30)のデイケアに変わりました。曜日についても、月・水の週2日から月・水・金の週3日に変わりました。

朝から参加するのは大変だという声もありますが、朝から起きて活動する場所として活用して頂きたいと思っております。昼食づくり等の新しいプログラムも行います。参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。

主な内容： 統合失調症疾患教育、スポーツ、昼食づくり、カラオケ など



榊原は自然がいっぱい！  
お話ししながら歩きませんか？



大人気のクッキング教室で、  
カレーライスを作りました。

## 近況だより

### CVP P Pフォローアップ研修を開催しました

9月28日～29日、当院においてCVP P Pフォローアップ研修を開催しました。

院内・院外から30名近くのトレーナーの参加があり、二日間にわたり精神科における包括的な暴力に対する援助技術を学びました。

また、トレーナー(指導者)養成研修を年2回(6月、11月)計画しています。詳しくはホームページをご覧ください。

